

## 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：水産業費 目：水産業振興費

### 事業名 内水面漁業普及啓発促進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部里川振興課水産係 電話番号：058-272-1111 (内 2912)

E-mail： c11428@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 7,287 千円 (前年度予算額：4,700 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	4,700	1,326	0	0	0	0	0	0	3,374
要求額	7,287	1,925	0	0	0	0	0	0	5,362
決定額									

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

近年、組合員と遊漁者が年々減少してきている。内水面漁業の担い手を確保し、将来に渡って河川の恵みを持続的に享受するためには、川で釣りをしたり、生きている魚を触ったりする機会を提供し、内水面漁業の魅力と環境保全の大切さを幅広い世代の県民に伝える必要がある。平成30年6月に内水面漁業の振興を目的にオープンした清流長良川あゆパークを活用して、内水面漁業普及啓発を進めていく。

### (2) 事業内容

#### ア 展示・体験イベント開催経費

内水面漁業や河川環境への理解を深めるために実施する展示及び体験イベントの開催経費及び事務経費

#### イ 各種視察対応経費

県内外から清流長良川あゆパークの視察に訪れる方への対応に要する事務経費

### (3) 県負担・補助率の考え方

#### ア 展示・体験イベント開催経費

県が負担

- イ 各種視察対応経費  
県が負担

### 3 事業費の積算内訳

歳出

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	304	業務旅費
消耗品	546	イベント及び体験プログラムに必要な消耗品の購入費
委託費	3,850	漁業体験イベント及び鮎塾開催に係る委託料
広報物作費	2,587	新聞広告、フリーペーパー、ポスター等の広報物作成費
合計	7,287	

### 決定額の考え方

#### 4 参考事項

##### (1) 各種計画での位置づけ

ぎふ農業・農村基本計画（令和3～令和7年度）

第5章 1（3）⑥鮎を守り育てる体制の構築

##### (2) 後年度の財政負担

ぎふ農業・農村基本計画の目標達成に向け、事業効果測定のうち、継続的に事業を進めていく必要がある。

##### (3) 事業主体及びその妥当性

県が事業主体となり、幅広い世代の県民に河川環境保全の大切さや魚釣りの楽しさを知ってもらうことで、漁業協同組合員数や遊漁者数の増大につなげ、ぎふ農業・農村基本計画で掲げる目標を達成するために妥当である。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいか

あゆパークの利用者を対象に漁業体験及び GIAHS 講習会を開催することで、内水面漁業の魅力と環境保全の大切さを若年層に伝えていくため、あゆパーク利用者と体験学習参加者を指標とする。

年間、パーク利用者数10万人を目指すとともに、県内小中学生による体験学習参加者1800人を目指す。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
		(H30)	(R1)			
あゆパーク利用者数		164,170 (H30)	219,774 (R1)	219,774 (R1)	100,000人	219.8%
漁業体験及び GIAHS 講習会参加者数		1,402 (H30)	2,306 (R1)	2,306 (R1)	1,800人	128.1%

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

夏休みイベント

（期間）令和元年7月29日～令和元年8月24日

（来場者）95,969人（R1.7～8）

### （前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

内水面漁業の普及・促進の効果が得られた

※清流長良川あゆパーク体験利用者アンケート結果

パークでの体験を通じて魚釣りへの関心が高まったか。→94%がはい

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い      △：必要性が低い</li> </ul>	
(評価)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内水面漁業の振興及び河川等内水面の生態系維持保全のための取り組みであり、これらに対する支援が求められている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>	
(評価)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ あゆパークで漁業体験をすることで、魚釣りに関心をもってもらうことができた。 [アンケート結果] 魚釣りをしたことがある・・・38% 漁業体験を通じて釣りをしてみたいくなった・・・94%</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている      △：向上の余地がある</li> </ul>	
(評価)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事業を効果的に実施するため、多くの来場者が期待できる「清流長良川あゆパーク」を会場に事業を実施する。 あゆパークは「内水面漁業の振興」「G I A H S の発信」の拠点であることから、本事業の目的を効率的に達成できる。</li> </ul>

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 遊漁者数が減少しつつあることから、幅広い世代の県民に魚釣りに興味をもってもらう必要がある。</li> </ul>
--

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 事業継続に当たり、漁業体験などの参加者に対しアンケートを実施することで、県民ニーズを把握し、実施内容や規模等について見直しを行う。</li> </ul>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	